

# ドイツ連邦最高裁 白色LEDの基本特許の有効性を肯定



阿部国際総合法律事務所  
弁護士・ニューヨーク州弁護士・  
大阪大学大学院医学系研究科招聘教授 阿部 隆徳

1879年、トーマスエジソンが白熱電球を発明して以来、一世紀以上もの間、照明分野では白熱電球が主役であった。しかし、1990年代に入り、日亜化学工業株式会社（以下、「日亜」という。）が、世界で初めて青色LEDの実用化・量産化に成功すると、ブレイクスルーを起こし、その後、白色LEDの実用化・量産化により、照明分野におけるパラダイムシフトを成し遂げた。2014年のノーベル物理学賞は、「明るく省エネルギーの白色光源を可能にした青色LEDの発明」に対して与えられた。本件は、白色LEDの基本特許に関する訴訟である。

## 本件発明

本件特許（欧州特許936682号）は、発光ダイオード（LED）を用いた発光装置に関する。当該装置は、半導体発光素子と、発光素子から発せられる光を異なる波長の光に変換することのできる蛍光体を備える。

従来のLEDには、所望の色調の白色光を発生させることができない、蛍光体の状態が劣化して、色ずれや素材の黒ずみにつながり、その結果として光取り出し効率が低下するなどの問題があった。

